

平成28年1月29日

航空機運航関係者 様

ふくしまスカイパーク指定管理者
特定非営利活動法人ふくしま飛行協会
理事長 斎藤喜章（職印略）

フクシマ・フライト・サービスの標準化および離発着について

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、今般、小型自家用航空機等の事故が多発し、安全運行に対する喫緊の対策を講じる必要性が求められております。さらなる航空安全を確保するために下記のとおりフライト・サービスの標準化を実施いたしますので航空機運行関係者の皆様には別段ご協力をお願いいたします。

記

- 1) 「フクシマ・フライト・サービス」は、出発時・着陸時の情報提供を原則とし、現行の運用要領（以下*を参照）で行います。（但し、最終判断は機長です）
 - *別空港から飛来する場合は、10NM 程度以遠で、「フクシマ・フライト・サービス」にコンタクトし、着陸情報（滑走路・風向風速・QNH、トラフィック情報）を得る。
 - *ふくしまスカイパークをから出発する航空機は、タキシング開始前に「フクシマ・フライト・サービス」にコンタクトし、離陸情報（滑走路・風向風速・QNH、トラフィック情報）を得る。
- 2) ふくしまスカイパークを離発着する航空機および周辺を航行する航空機は、適切なタイミングで非管制空港の通信要領で、位置情報を発信し、航空機相互間の安全を確保してください。（「フクシマ・フライト・サービス」に管制機能はありません）

また、位置情報発信には、（イイザカ・ローカル*¹）呼称を使用して、以下の位置情報等を通報（以下**を参照）するのが望ましい。

 - **トラフィック・パターンを飛行する際は、適切な位置情報を一方送信する。具体的には、クロスウィンド・ダウンウィンド・ベース・ファイナルの各所で実施する。
 - **ストレート・インやダイレクト・ベース等からの進入する場合もその旨を一方送信する。
- 3) ご利用(離発着)については、施設の利用状況を確認し出来るだけ速やかにご連絡をお願いいたします。

*¹イイザカ・ローカルと一方送信する際の呼称です。